

第33回 J J B F 埼玉県中学生選抜野球大会 要項 (案)

2019.07.18 版

1 目的

- 本大会は、中学校教育の一環として、野球の実践機会を与え、技能の向上と共に、スポーツ精神の高揚を図り、心身ともに健康な中学生を育成すること。
- 本大会は野球を通じて、中学生の親睦と野球技術の向上および野球の普及を図ること。

2 主催 JJBF 埼玉県中学生野球連盟

3 後援 ナガセケンコー株式会社 武蔵ヒートベアーズ

4 期日

	1 st ステージ	2 nd ステージ	3 rd ステージ	F I N A L
POWEWR-LEAGUE	3チームによるリーグ戦	各ブロック1位の3チームリーグ戦	3チームリーグ戦	2チーム
	9/7、9/8、9/14、9/15、9/16、9/21、9/22、9/23、9/28、9/29、10/5、10/6	10/12、10/13、10/14、10/19、10/20、(10/22)	10/26、10/27、11/2、11/3、11/4	11/23 11/24
HOPEFUL-LEAGUE	3チームによるリーグ戦	1位～3位の3チームリーグ戦	プールABC、DEFの1位3チームのリーグ戦	2チーム
	9/7、9/8、9/14、9/15、9/16、9/21、9/22、9/23、9/28、9/29、10/5、10/6	9/23、9/28、9/29、10/5、10/6、10/12、10/13、10/14、10/19、10/20、(10/22)	10/26、10/27、11/2、11/3、11/4	11/23 11/24
	※HOPEFUL-LEAGUE は、1 st ステージで順位分けして、再度2 nd ステージで、と行うため試合数が多くなります。そのため9/28以後から2 nd ステージに移るチームもあります。			

※1：参加申し込みチームの可能日で分けて組み合わせを行います。それによりシード枠などを設けることもある。

※FINAL=11月23日(土) 於・(未定) (※予備日 11月24日(日))

5 リーグについて (表彰および上部大会について)

今大会は、「POWER-LEAGUE」と「HOPEFUL-LEAGUE」のどちらか一方を選択し、参戦。同時進行で大会を行います。

(1) 「POWER-LEAGUE」：従来の大会と同じ。選抜チームなども参加可です。

※表彰および上部大会

優勝 優勝旗 優勝盾 賞状 準優勝 準優勝楯 賞状 3位 3位楯 賞状

◆ (予定) 優勝チームおよび上位入賞チームは以下の大会などに推薦します。(昨年度の例)

(1) 東日本中学生野球大会 (1月初旬・東京都三鷹市開催)

(2) 金太郎杯 (3月下旬・神奈川県足柄近辺開催)

また今大会の出場選手の中から、優秀選手を選抜し、令和2年度(2020年度)の埼玉選抜の選手選考の参考とします。

(2) 「HOPEFUL-LEAGUE」：野球が好きで、力を一歩ずつつけていますが、「チームの人数が少なく（1，2年生で15名以内）」または「中学生になってから野球を始めた選手が多い」など発展途上のチームによる大会。

※表彰

優勝 優勝盾 賞状 **準優勝** 準優勝楯 賞状

6 使用球およびバット ①使用球は、M号球※試合に際して**2球ずつ**キャプテントスの時に持参する。
③バット：JSBBの認定を受けているバットは使用可（複合素材も含め）また中学生硬式や準硬式のバットも使用可。

7 参加資格 県内中学校在籍または県内在住の中学生によって構成されたチーム
また審判に協力できるチーム。

8 審判の役割分担について

(1) 1st STAGE～3rd STAGE 3チームリーグ戦（A、B、Cの3チームによる）

第1試合 A 対 B （審判Cチームから4名）

第2試合 C 対 第1試合**負け** （審判第1試合**勝ち**から4名）

第3試合 C 対 第1試合**勝ち** （審判第1試合**負け**から4名）

※4名の審判が出せない場合には、3審制でも可。大人（顧問、コーチ、保護者）を原則としますが、会場での協議によって同意を得た場合には、選手も可。

※審判費として、1会場1日最大3000円まで支出します。（3名×1000円）少額で申し訳ありませんが、よろしくお願ひします。

★2nd STAGE 以後、各会場の試合で「4名」の審判を出せない場合、「負け審判＝前のステージで、当該チームに負けたチームから1名ずつ」の協力をお願いします。

(2) FINAL 決勝戦 ※審判は連盟から

9 参加費等 ※大会初日に、会場チームにお渡しください。

(1) 参加費 1チーム 4,000円

(2) プログラム代 プログラム1部 500円 × 注文数

※プログラムは、最低登録人数分の購入をお願いします。

10 競技規則

① 回数は7イニング以内までとする。試合時間は100分間以内とする。

② 100分を超えて新しいイニングには入らない。

③ **延長戦はなし**。リーグ戦の場合は**引き分け**とする。トーナメントの場合、以後はタイブレーク（**継続打順による一死満塁**スタートの特別延長戦）を行う。これを**2回**繰り返しても同点の場合は、最終出場選手9人による抽選により決着をつける。ただし決勝戦は時間制限なしで決着がつくまで繰り返す。

④ リーグ戦に関する規則（A、B、Cの3チームでのリーグ戦の場合）

a 第1試合を「A」対「B」としたとき、第2試合は、「C」対 第1試合の「敗者」
とし、第3試合を「C」対 第1試合の「勝者」とする。

※ただし会場の都合で、当日参加チームの同意を得られた場合、試合順はこの限りではない。

b リーグ戦における会場の1位～3位の決め方は、

ア：勝ち点（勝利チーム勝ち点3、引き分けの場合勝ち点1を与える。）の多いチーム

イ：失点数の少ないチーム

ウ：得失点差の多いチーム

エ：出塁数の多いチーム

※「エ」の出塁数とは、安打・四死球・相手エラー（振り逃げを含む）などで、**1塁ベースに走者として残ることが認められた選手の合計とする。**

例：四球1、エラー1、単打1、2塁打1、本塁打1→出塁数=5

の順に決定する。それでも決定しない場合は、大会本部による抽選で決定する。

⑤投手の投球イニングは、**1日につき7イニングまで**とする。（タイブレークの場合は含まない）

※この「投球回数7イニング」とは「21アウト」である。

例

A投手が6イニングを投げ、7イニング目に四球、四球、四球で無死満塁を作り、B投手と交替し、B投手が7イニング目を投げ抜き3アウトをとった場合には、

A投手は、同日の試合では、あと1イニング（3アウト）登板することが可能である。（またB投手は、同日の試合では、あと6イニング（18アウト）登板することが可能である。）

※20アウトを投げ、次の打者でダブルプレーが成立した場合には、特例として22アウトを投げる
ことができる。

⑤-特別 3チームリーグ戦または4チームトーナメントで、「雨天順延」や「試合日程の関係」で1日で同一リーグが消化できない場合の投手の投球制限について（条件の平等化について）

7月○日（土） A 対 B Aは埼玉投手が7イニング投げた。Bは群馬投手が3イニング、茨城投手が4イニング投げBが勝利した。

そして雨天のため、第2試合以後は、翌週に順延となった。

7月△日（日） A 対 C Aの埼玉投手は投げられない。（ただし（リーグ戦はないが）タイブレークになった場合は投げられる。）

Cは千葉投手が2イニング、東京投手が2イニング、栃木投手が3イニング投げた。

↓ **この場合？**

B 対 C Bは、群馬投手は4イニング、茨城投手は3イニング投げる
ことができる。

Cは、千葉・東京両投手は5イニングまで、栃木投手は4イニング
まで残り投げる
ことができる。

⑥ コールドゲームは5回以降7点差とする。

⑦ ベンチはトーナメント表の番号の若いチームを1塁側とするが、リーグ戦の場合には別途指定する。

⑧ 打者、走者、コーチャーはヘルメットを着用する。捕手はサポーターカップ着用する。

⑨最終登録は、試合前のメンバー交換時とする。（本大会において同一選手が複数のチームでの複数回の出場は認めない。ただし、女子選手の場合、出場機会の確保という観点から自チームおよび女子選抜チームでの登録・出場を特別に許可する。）

⑩ 背番号を着用した成人の監督・コーチはベースコーチに入ることができる。

1 1 チームの人数 選手20名で背番号着用のこと

背番号 監督 30 コーチ 29 28 主将 10

※成人のベンチ入りはユニフォームを着用した3名のみとする。

※プログラムへの掲載は20名以上可とし、試合におけるメンバー交換時に記載された20名を出場選手とする。(ただし1チーム1試合20名を超えて試合に出場することはできない。)

1 2 その他、お願い等

- この大会は、任意の大会であるので、出場にあたっては、保護者等への説明などを行うこと。
- 雨天以外(急な学校行事など)での日程の変更は行わない。都合の悪い日程がある場合には大会参加の申し込み時に、所定の様式に記入しメールにて連絡すること。それ以外での変更は配慮しない。(子どもたちが主役であるので、できるだけの努力はするが、全県からの参加の大会のため、配慮が難しいことがあることも了解すること。)また組み合わせが決まった後の不参加は認めない。
- 何かご不明な点がある場合には、下記連絡先にメールにて行うこと。

J J B F 埼玉県中学生野球連盟 事務局 原口 saitamakbjimukyoku@yahoo.co.jp